

# サービスニュース



## 入渠前の準備は？

ここ近年、弊社にて実施させて頂いております開放検査工事において、気付いた点をご連絡致します。

### ドック期間中に不具合箇所を知らされる機会が多くなります。

このような場合、簡単に修理が可能であればよいのですが、新たに部品や工具、人員を手配して修理することがございます。場合によっては、ドック期間中に部品の手配がつかず、船を追って部品を発送する事も発生しています。(受注生産品、受検品等)

ボイラの使用用途・状況・管理体制の違いにより、現在のボイラの状況を十分把握できないでドックを迎え工事となってしまう場合があります。

### そこで、この度入渠前のチェックシートを作成致しました。

本船にて、入渠前にあらかじめボイラの点検を行ってみてください。(出来る範囲で結構です) その結果をチェックシートにご記入の上、ご返信ください。

結果内容を弊社にて確認致しまして、ご提案差し上げます。

### 計器類のチェックの必要性

ボイラの蒸気圧力計及び排ガスエコノマイザの蒸気圧力計(熱媒の場合は、熱媒ヒータ及び熱媒排ガスヒータの熱媒油圧力計)においては、通常ドック時に校正を実施されていると思います。しかし、その他の圧力計・温度計等の計器類について、はどのように管理を行われていますか?年数が経つにつれ、管理がおろそかになる場合が数多く見られます。これらの計器類は、ボイラのコンディションを知る貴重な目安となります。また、初期の異常を知る上で、不可欠なアイテムです。

オーバーホール・修理に納期がかかることもあり、先行手配が必要となる場合もあります。

燃焼不良などの突発的なトラブル発生の際、本船との電話対応を行う場合においても、機器の状況を把握する為に確認させて頂く重要なものです。

是非ともこの機会に、作動確認・破損の有無をご確認願います。

## 補足1： 標準値について

基本的には、試運転時のデータ及び取扱説明書の数値をご参照願います。

\*機種・仕様により多少異なる事がございます。

本船にお渡ししている完成図書内の図面(配管系統図)に、圧力計類の使用箇所が記載されています。

## 補足2： メリット

### ① 2次災害の防止

例 1: 圧力計の数値を把握することにより、早期にストレーナ掃除をし処理できていたものが、放置することにより、ポンプ類のロック・焼損に至ってしまう。

例 2: 燃料油圧の変化に対し燃焼不良が発生。燃焼調整・バーナ掃除などを定期的を実施すれば、ボイラストップ・煤詰り・逆火の未然防止につながる。

### ② メンテナンス対応時間の短縮

標準値との比較、計測データの傾向管理により、初期段階での原因追求に役立ちます。

弊社サービスネットワークは下記 URL もしくは QR コードよりご覧いただけます。

<https://www.miuraz.co.jp/product/marine/maintenance/service.html>



ご不明な点がございましたら最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。  
今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

# 入渠前チェックシート

機関長殿：入渠に際して、下記事項のご確認をお願い致します。

詳細を確認するため、機器毎に出来る限り数値のご記入をお願い致します。

## ① 計器類・運転データについて

例	燃料圧力	MPa	給水ポンプ出入口圧力	MPa
	FAN 電流値	A	循環ポンプ出入口圧力	MPa
	燃料ヒータ設定温度	°C	廃油圧力 1次/2次	MPa
	燃料ヒータ表示温度	°C	焼却炉内温度	°C
	F.O.タンク設定温度	°C		

## ② 水管理について

本船で実施されているボイラ水の管理データを送付してください。

\*測定データ、表面ブロー、全部ブローの回数、軟水チェックの結果

弊社製Zケミカルをご使用のお客様は、ボイラ水・カスケードタンク水・軟水・ドレン水のサンプルをご送付ください。(着払不可)

\*送付先：〒799-2696 愛媛県松山市堀江町7番地 三浦工業(株) 船用メンテナンス課

## ③ 制御機器について

以前と違う動作、制御に疑問を感じる点など、お気づきの点を教えてください。

<例：最近、開閉器のサーマルがトリップした、通常考えられない温度表示が出る等>

## ④ 配管・機器本体・その他からの漏れについて

水・燃料・排ガス・エアなど、漏れについてお気づきの点がございましたら、教えてください。

## ⑤ その他、不具合箇所、気になる点について

<例：ファンネルからの発煙、耐火材の劣化>

## ⑥ ドック前のご質問がございましたら、ご記入ください。

船名：\_\_\_\_\_

機関長お名前：\_\_\_\_\_

連絡先(TEL)：\_\_\_\_\_

(FAX)：\_\_\_\_\_

恐れ入りますが、このチェックシートをFAXにてご返信ください。FAX：089-979-7067

ご協力ありがとうございました。

# 入渠前チェックシート(熱媒機種)

機関長殿：入渠に際して、下記事項のご確認をお願い致します。

詳細を確認するため、機器毎に出来る限り数値のご記入をお願い致します。

## ① 計器類・運転データについて

例	燃料圧力	MPa	熱媒出入口圧力ヒータ	MPa
	FAN 電流値	A	熱媒出入口圧力排エコ	MPa
	燃料ヒータ設定温度	°C	循環ポンプ出入口圧力	MPa
	燃料ヒータ表示温度	°C	廃油圧力 1次/2次	MPa
	F.O.タンク設定温度	°C	焼却炉内温度	°C

## ② 膨張タンクと熱媒油について

膨張タンクの液面計は正常ですか？ 膨張タンクが外部から腐食を起こしていないですか？  
膨張タンクの油量は一定ですか？ 熱媒油の分析結果は正常ですか？

## ③ 制御機器について

以前と違う動作、制御に疑問を感じる点など、お気づきの点を教えてください。

<例：最近、開閉器のサーマルがトリップした、通常考えられない温度表示が出る等>

## ④ 配管・機器本体・その他からの漏れについて

熱媒油・燃料・排ガス・エアなど、漏れについてお気づきの点がございましたら、教えてください。

## ⑤ その他、不具合箇所、気になる点について

<例：ファンネルからの発煙、耐火材の劣化>

## ⑥ ドック前のご質問がございましたら、ご記入ください

船名：\_\_\_\_\_

機関長お名前：\_\_\_\_\_

連絡先(TEL)：\_\_\_\_\_

(FAX)：\_\_\_\_\_

恐れ入りますが、このチェックシートをFAXにてご返信ください。FAX: 089-979-7067

ご協力ありがとうございました。